

教育用語辞典

「教育用語辞典」第15回目です。今回は間違い探し問題としました。傍線①②③のうち、間違っている部分と正しい言葉を考えてみてください。意外に子どもたちの方がよく知っているかもしれませんね。

ICT教育

レベル★★★

〔あいつていきょうく〕

ICTとは「Information and Communication Technology」の略で、①情報通信技術と訳される。「IT」とほぼ同様の意味で用いられるが、「コミュニケーション」性が加わっている点に特徴がある。ICT教育とは、様々な形態で②コンピュータを活用した教育に関する取り組みのことで、教科書等を③実物投影机で大きく映したり、デジタルカメラで撮った写真をプロジェクターで大きく映したりして授業を行うのはその簡単な例。学習意欲や理解力の向上が期待される。

プロフ

レベル★★★

〔ぶろふ〕

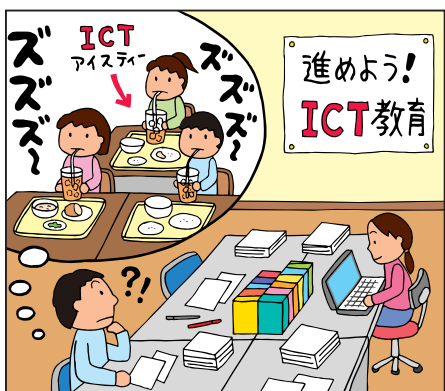
「プロフィール」の略。自分の①プロフィールのページを作成できるサービスのこと。または、そのようなサービスを提供しているウェブサイトのこと。②携帯電話で利用されることが多い。専用のサイトで、あらかじめ用意された項目に記入していくようにして作成される。プロフは固有のURLによってウェブ上に公開される。女子中高生を中心に人気を博しているが、近年は利用者が③高年齢化している。トラブルや犯罪に結びつくこともあり、問題点も指摘されている。

認定子ども園

レベル★★★

〔にんていこどもえん〕

幼稚園、保育所等のうち、必要な機能を備える施設で、①厚生労働省が「認定子ども園」として認定した施設のこと。必要な機能とは(1)就学前の子どもに②幼児教育・保育を提供する機能(保護者が働いている、いないにかかわらず)(2)地域における③子育て支援を行う機能(すべての子育てを対象に、相談活動や親子の集いの場の提供などを行う)である。近年の少子化や環境の変化に伴う、保護者や地域のニーズに応えるために平成十八年十月より開始された。



【解答】②コンピュータ(正解) ICT(正解)

③高年齢化(正解) 低年齢化(①厚生労働省(正解) 都道府県知事)

文 | 山中伸之 (栃木県小山市立旭小学校) イラスト | 吉田朋子